

『保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について』

4月25日に会社から提案を受ける！

【提案内容は下記になります。(一部抜粋)】

1. 実施日

2018年7月1日

※「(1) 線路設備モニタリングによる新たなメンテナンス手法の導入」について、一ノ関保線技術センターは東北本線一ノ関以南への線路設備モニタリング装置導入以降、青森保線技術センターは津軽線・奥羽本線への線路設備モニタリング装置導入以降の実施。

2. 対象箇所

北上新幹線保線技術センター、一ノ関保線技術センター、北上保線技術センター、盛岡保線技術センター、青森保線技術センター

3. 実施内容

(1) 線路設備モニタリングによる新たなメンテナンス手法の導入

- ① 検査体系の見直し・・・徒歩等による線路総合巡視の頻度見直し及び材料検査との組合せ実施
- ② 引継検査の業務見直し・・・軌道の仕上り状態検査(引継検査)における現場確認業務の一部省略
- ③ 保線技術センター業務の効率化・・・線路設備モニタリング装置を活用した効率化メンテナンスによる業務の見直し

(2) 閑散線区の保守業務の見直し

(対象線区) 大船渡線、北上線、釜石線、山田線、花輪線、八戸線、大湊線

- ① 保守業務の移管拡大・・・徒歩等による線路総合巡視及び当社で実施してきた検査等保守業務のパートナー会社への移管
- ② 認定制度の導入・・・パートナー会社従業員に対する認定線路技術者制度の創設
- ③ 組織等の見直し・・・移管拡大による重複業務の解消、線路派出の廃止、線路科のエリア見直し

(3) 保線部門の技術支援の再整理

世代交代が進む保専技術センターにおいて適切な技術判断ができる体制をより効率的に確立するため、これまで進めてきた人材育成の強化に加え、専門的な技術支援を可能とする体制を確立する。これに伴い、代表保線技術センターの技術教育科の役割を見直す。

4. 要員関係

箇所名	関係職	標準数	記事
北上新幹線 保線技術センター	助役	4	・企画安全科長を配置する ・技術教育科長を廃止する
	施設	30	・技術教育スタッフの見直しを行う
一ノ関 保線技術センター	施設	22	・線路1科スタッフの見直しを行う ・線路2科スタッフの見直しを行う
	施設	21	・線路1科スタッフの見直しを行う ・線路2科スタッフの見直しを行う
盛岡 保線技術センター	助役	7	・企画安全科長を配置する ・技術教育科長を廃止する
	施設	28	・線路1科スタッフの見直しを行う ・線路2科スタッフの見直しを行う ・線路3科スタッフの見直しを行う ・技術教育スタッフの見直しを行う
青森 保線技術センター	施設	22	・線路1科スタッフの見直しを行う ・線路2科スタッフの見直しを行う ・線路3科スタッフの見直しを行う